



人類に
奉仕する
ロータリー

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2016～17年度会長 ジョン F. ジャーム

第 2724 回例会 平成 28 年 10 月 28 日(金)

- ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 角田 幸弘 会員
- ◇ お客様紹介
- ロータリー米山記念奨学会委員会委員長 富 一美 様
- ロータリー米山記念奨学生 シ イーチェンさん (千葉大学大学院)
- 成田コスモポリタンロータリークラブ 滝澤 政樹 様
- 東京中央新ロータリークラブ 秋葉 良子 様



◇ ニコニコボックス



諸岡 靖彦 会員: しばらく例会に無沙汰いたしました。7 件のニコニコ案件をまとめて報告いたします。

1. 本日表千家同門会千葉県支部長として成田山貫首より志納に対する感謝状を頂戴いたしました。
2. 本日朝 7～8 時 JR 成田駅頭で、圏央道建設促進県民会議の皆さんとキャンペーン活動に参加いたしました。
3. 昨日成田商工会議所の臨時総会で、11 月からの池内会

頭の 2 期目の役員と議員の体制が承認されました。

4. 先週の例会で旧下総町出身の映画監督 YUKI SAITO さんの卓話例会が終了し、今後の活躍が期待されます。

5. 成田絃まつりの 2 日目、成田楽友協会主催の「成田国際交流コンサート」が盛況に開催されました。

6. 10 月 19 日次男の家庭に男児誕生、3 人目の孫に恵まれました。

7. 10 月～9 日親睦旅行に参加、初めて沖縄を訪ね、これで全国都道府県すべてに足を運ぶことになりました。



石橋 菊太郎 会員: 成田に関する新発見をしました。ニュータウンから美郷台に向かう大きな橋があります。郷部大橋です。それと昔からある幸町と郷部を結ぶ橋、郷部橋。そして郷部大橋の下にも橋があるのですが、それが郷部小橋。そしてその郷部小橋の架かっている川が小橋川、小橋川の手前にある橋が石橋橋という発見をし

ました。

(「石橋」の地名は、旧郷部村の字(あざ)で、そこに架かっている橋なので「いしばし橋」と呼ばれたのか、「石の橋」が架かっていたので「石橋」が字になったのか……。いしばし橋のたもとには「石橋地蔵」もありました。現在は場所を移動しております)



渡辺 孝 会員:先ほど諸岡会員から沢山のニコニコ情報がありましたが、私の方でも2点ほど関係するものがありましたのでニコニコさせていただきます。成田商工会議所が平成3年に発足して以来、25年間議員をやらせて頂きましたが、昨日の臨時総会で目出度く退任させていただきました。また成田国際交流コンサートにおいて、成田高校のオーケストラの演奏がございましたが、孫娘が成田高校の二年生で、百人ほどいたオーケストラの第一バイオリンのコンサートマスターをやりました。非常に良くできておりました。



角田 幸弘 会員:ニコニコと言うよりは皆さんにお願いです。私が理事長をしている成田の駅前のマンションですが、予算が逼迫しております。去年からクリスマスツリーを飾り住民の子供達と親睦を計りたいと思っておりますが、中々ツリーを買えないでおります。皆様の所で使わないツリーがありましたら、ご寄付して頂けないでしょうか?企業広告も入れられます!



松田 泰長 会員:一年半前に発見された悪性腫瘍の手術をしてから一年が経過しました。先日、一年検診を受けてきました。今のところ、再発転移はありませんでした。何とかあと四年間頑張っていきたいと思っております。そんな折、孫に子供ができる事が分かりました。私にとっては曾孫になります。来春誕生予定です。何とかいい春を迎えたいと思っております。



秋葉 良子 会員:先日は月見例会にお起こしいただき有難うございました。生憎私は出張で不在となり、申し訳ありませんでした。今後ともよろしくお願いいたします。

◇ 会長挨拶

石川 憲弘 会長

地区ロータリー米山記念奨学会委員会委員長の富様、今日はありがとうございます。

10月26日の読売新聞に先週卓話をしていただきました映画「古都」の監督SAITO様(成田市出身)が、小泉一成成田市長を表敬訪問した記事が記載されておりました。

12月4日に成田ヒューマックスにおきましてSAITO監督が舞台挨拶をするそうです。映画「古都」のチケットですが、後程委員会報告で矢島委員長から皆さんにチケット購入のお願いがあると思いますので、宜しく願い申し上げます。

話は変わりますが、私は先月10月20日、第6回千葉県観光物産大会で旭市の「いいおかユートピアセンター」に行っていました。これは千葉県内の観光協会と物産協会が



一同に集約したもので、約400人の関係者が各市町村、観光協会の半纏を羽織り参加されていました。基調講演の後、所属地区で活躍されております10人の個人表彰、二つの団体表彰があり成田観光協会からは成田ビューホテル総支配人の遠藤正之様が表彰されました。受賞者代表謝辞、大会宣言の後、次期開催地の発表があり平成29年度は成田市に決定しました。20名程が壇上に上がり宮田成田観光協会副会長の挨拶、成田市の観光スポット、うなり君の紹介などをしてきました。成田市での開催には今年を上回る参加者が予測されます。当クラブにも大勢の観光協会会員がいらっしゃいますので、その折には皆様にご協力の程よろしく願いいたしますとの事です。そして今日の卓話は米山奨学生シーチェンさんの卓話です。カウンセラーとの合同セミナーで今日の成田クラブでの卓話の勉強をしたそうですが、来日しまして約7か月、どのような生活をしているのか本人の口から直接聞けるのは非常に楽しみです。

◇ 委員会報告

・地区ロータリー研修委員会

諸岡 靖彦 委員長

青木ガバナー年度の事業として、入会5年未満の会員を対象としてロータリーの基本中の基本を考える『ロータリー情報研修会』を担当しております。

10月1日の第4分区を皮切りに、昨日27日まで9分区に訪問して、研修を展開してまいりました。当第9分区は最終開催となりますが、12月2日(金) ラディソンホテル成田にて高橋ガバナー補佐主催で行われ、地区研修委員会が研修プログラムを担当いたします。

当日は6クラブの合同例会の終了後に、正味3時間で、基調発表～小グループのテーブル・ディスカッション～全体会議で、ロータリーに基本の部分を語り合います。

最後に、地区研修リーダー白鳥政孝パストガバナーの講評で締めくくります。

新しい会員がロータリーの魅力をよく理解して、クラブに定着して力を発揮していただけるような研修を進めてまいります。

5年以上の会員のご参加も歓迎です。多くのご参加を得て、ロータリーを元気にしてゆこう！というテーマで語り合う研修です。

石川会長からご案内状が発せられております。多くの皆様のご参加をお願いいたします。



・クラブ管理運営委員会

矢島 紀昭 委員長

先週、SAITO監督の卓話の中でも協力依頼がありましたが、クラブとしても皆様にご協力いただきたいと思います。成田出身の映画監督でもあります。作品としても川端康成の「古都」ですから素晴らしい映画であることは間違いありません。会員はもとより、家族、近所、会社の従業員に広めていただきたいと思います。クラブでもできるだけ多くのチケットを販売できるように協力したいと思っております。前売り券は1,100円です。ノーマルなものとお香付きのチケットがあります。値段は一緒です。一応、11月4日を締切に希望枚数をお聞きします。よろしく願い致します。



・成田環境ネットワーク

小宮山 四郎 会員

先週の22日には印旛沼クリーンハイキングに7名の出席をいただきましてありがとうございました。度々ですが、12月16日の金曜日は第二回空港周辺道路美化活動です。参加名簿を回覧しておりますので、参加への御協力、宜しく願い致します。詳細については、後



ほど参加者していただける方に直接ご連絡いたします。

◇ 幹事報告

吉田 稔 幹事

《回覧》

- ・各種出欠表（ボーイスカウト 11/20、分区ゴルフ 11/24、情報研修会 12/2、空港周辺道路美化活動 12/16）
- ・映画「古都」前売り券申込書 1枚 1,100円
- ・会員名簿のチェック

《連絡》

- ・11月のレート
- ・今日でクールビズ終了



◇卓話に際し

・米山記念奨学

堀口 路加 リーダー

10月は米山月間という事で、地区米山記念奨学委員会では26名の米山記念奨学生が各クラブを訪問して卓話をし、米山記念奨学生を通して米山記念事業を深く知っていただく機会としています。成田ロータリークラブでは今年度と来年度の二年間、台湾からの留学生で千葉大学大学院に在籍している米山奨学生シ イーチェンさんを引き受けていただいていますので、今日はイーチェンに卓話をさせていただくことになりました。すでに他クラブで2度卓話をしています。地区米山記念奨学委員会では、昨年度から奨学生の世話クラブを引き受けていただいているクラブを地区委員で分担して訪問していますが、本日は富一美委員長自らお越しくございました。はじめに富委員長からみなさんにご挨拶いただいてから、イーチェンの卓話に入ります。



・RID2790 米山記念奨学委員会

富 一 美 委員長

皆様こんにちは。

前年度の地区米山記念奨学委員長でありました、貴クラブの堀口路加さんの後を引き継いで今年度委員長を仰せつかっております成田空港南ロータリークラブの富と申します。どうぞよろしくお願い致します。

本日、こうしてお邪魔させていただきましたのは、前年度もそうでありましたように、6人の地区委員で分担しまして、米山記念奨学生をお預かりいただいております世話クラブ様に、一軒一軒ご訪問して、ご意見などを伺いながら、日頃の感謝とご挨拶を述べさせていただいているところでございます。

本日は、例会の貴重なお時間を頂戴いたしまして、本当に感謝申し上げます。

それでは改めまして、ご挨拶申し上げますが、成田ロータリークラブの皆様には、日頃よりロータリー米山記念奨学会への活動に深いご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。また今年度は、米山奨学生のシ イーチェンさんのお世話をいただいております、重ねて御礼申し上げます。

シ イーチェンさんは、当地区の初めての試みとして海外からの直接応募で採用した優秀な学生さんです。浅野カウンセラーのサポートもありまして、順調に奨学生生活を送られております。

この10月の米山月間に入りましてから、すでに他クラブへの奨学生卓話訪問を2件こなしていただいております、「心のこもった卓話」が大変好評を呼んでおります。



この後、シーチェンさんのバージョンアップした卓話が聞けるという事で、私も大変楽しみにしているところでございます。

また、ここで簡単に現在までの地区米山記念奨学事業の活動状況と今後の予定につきまして少し触れさせてさせていただきます。

年度当初に策定しました4つの重点目標に基づきまして、現在までの10件程の事業計画は、お陰様を持ちまして順調に消化しております。

また、新規20名、継続6名、合計26名の奨学生も、だれ一人問題を起こすこともなく、順調に奨学生生活を送っております。

そうこうしているうちに、もう次年度2017-18年度新規奨学生の面接の準備に入っております。この24日に青木ガバナー、寺嶋ガバナーエレクト、橋岡ガバナーノミネーを含めた面接官のオリエンテーションを行いました。

そして、この後の行事予定といいますと、

- ・12月の学友会主催忘年会、
- ・来年1月に入りますと、14、15日、の2017-18年度新規奨学生の面接試験並びに判定会
- ・そして、同日15日に地区委員会主催による奨学生、カウンセラー、指導教員を交えた新年会
- ・2月には台湾から米山学友であります義守大学准教授の黄幸素さんを招いてのホームカミング、(これは第3分区ABの卯田ガバナー補佐並びに金親ガバナー補佐のご協力を得てインターシティーミーティングの際に行う予定)
- ・それから、3月11日終了式並びに歓送会を実施して、2016学年度を終了する予定でございます。

以上が活動状況と今後の予定でございます。

結びになりますが、私は、次年度寺嶋ガバナー年度も米山委員長予定者に成っております。これからもガバナーの指導の下、国際親善と世界平和の為に、一人でも多くの優秀な奨学生を採用し、育てていきたいと考えておりますので、皆様の更なるご協力・ご支援をお願い申し上げます。本日の世話クラブ訪問のご挨拶とさせていただきます。

◇ 卓話

～～自己紹介と将来の夢～～

米山記念奨学生 シーチェン (千葉大学大学院)

皆様、いつもお世話になっております。2016年度の米山記念奨学生、台湾出身のシーチェンと申します。世話クラブは成田ロータリークラブです。

この度、成田ロータリークラブの皆様の前で卓話をさせていただくことを大変光栄に存じます。

今回、私は、指定校からの応募ではなく、日本全国で11人合格した海外応募者の一人でございます。海外応募者の受け入れにあたっては、2015年度ガバナーの櫻木英一郎さま、2015年度米山記念奨学会委員長堀口様にご配慮いただき、また現在は2016年度米山記念奨学委員長富様とカウンセラーの浅野様をはじめ、成田ロータリークラブの米山記念奨学委員会の皆様にお世話になっており、心から感謝申し上げます。



《自己紹介》

私は、今年の4月に日本に来て、千葉大学大学院工学部工学研究科で建築・都市科学を専攻しております。まず、自分の出身と経歴を話したいと存じます。出身は台湾の桃園でございます。桃園には、台湾における重要な大型の国際空港があります。今回お世話になっている成田ロータリークラブも国際空港があることで、多分私は空港と何か縁があるのではないかと考えています。

小学3年生から母子家庭になり、母親と一緒に暮らしていました。数年前に父親と一緒に暮らしていた弟もやっと帰ってきました。私の母が、私に一つ言ったことがあります。「私とあなたのお父さんには、良い教育を受ける機会はなかった。だからあなたに対してなんにも要求は無い。ただ一つ、後悔しないように、悪い事をしないで、堂々と生きてほしい。」という事でした。私は家庭で長女、親戚の中でも一番年上です。家庭の成員の順番を重視している台湾家庭では、小さい頃から、私はなにか使命感を担い、家族の運命を変えたいという気持ちを心に持つようになりました。3年前、自分で貯めたお金で初めて海外旅行した国は日本です。大阪で建築家の安藤忠雄さんの作品や世界文化遺産の京都、白川郷の合掌造りや他の建築家がデザインした建物や、昔の日本の民家を見に行きました。さらに、日本の綺麗な街、親切な日本人に深い印象を受けました。

日本は有形文化財や、無形文化財に深く関心を持ち、昔の伝統を守るため、お祭りや、民家の再生も一生懸命に取り組んでいます。一方で現代建築に於いては建築界のノーベル賞と称され、世界中で活躍する建築家の業績をたたえて贈られるプリツカー賞を日本では7人の建築家が受賞しています。

何で日本はこういうことが出来ますか?日本の建築家はどのような教育を受けているのでしょうか?と不思議に思いました。だから帰国して一生懸命独学で日本語の勉強を始め、今年で3年目です。また、日本では積極的に世界文化遺産を申請しています。この姿勢を見て、台湾の建築や文化資産の未来を考えるようになりました。台湾でも誇れる集落を世界遺産に登録したいのですが、国の資格の問題を抱えている為、様々な困難があります。さらに、台湾は日本と同じ地震が多い国です。今年2月台南大震災のビルの倒壊事件により、何百人も死亡し、建築技術の問題が新たに浮かび上がりました。日本建築の移築に関してテーマとしている私は、日本の視点に着目しながら、台湾の建築移築の技術の問題と、台湾では昔失敗した例が多い建築の移築に関してあまり賛成しないという社会性の問題を解明したいと考えました。国立台北芸術大学修士課程に在籍していた私は、昨年先生たちの推薦のお蔭で、台湾の日本交流協会奨学金を得て4月から9月まで半年間、東京の多摩美術大学の環境デザイン学科に交換留学しました。半年しかないので、時間の有効活用をしたいと考え、色々な建築を見に行ったり、古民家（民家園）の館長や学芸員を訪問しました。見学や調査、授業以外の時間は、殆ど国会図書館、各地の図書館、学校の図書館にいました。多摩美術大学への留学のお蔭で、少しずつ日本の社会、環境、歴史がわかってきました。この経験は、今の留学に大変役に立つことになりました。元々正式な留学生として、日本で勉強したいという思いが有りましたが、多摩美術大学への留学により、もっとこの気持ちが強くなりました。昨年6月に初めて今の指導教授穎原先生に出会い、研究室を訪問して、先生の親切さに対してびっくりしました。7月受験をうけて、8月に千葉大学に合格し、9月一応台湾に戻りました。



《米山奨学金の応募のきっかけ》

台湾でいつも大変お世話になっていた台湾民俗学の学者林先生から交換留学のための推薦書を貰った時、先生から「あなたが来年もし日本の大学院へ留学をきめたら、ロータリー米山記念奨学金を申請してみませんか？ロータリー米山記念奨学会の創建者米山梅吉さんは、日本のロータリー活動に大きく貢献した人です。この奨学金は沢山の優秀な学者を輩出してきました。」といました。その時はじめてロータリー米山記念奨学会のことを知り、米山梅吉様に関しても少し勉強しました。10月に資料の準備と推薦書が揃い、応募書類を提出した後の12月に地区の米山記念奨学委員長から連絡が来ました。12月22日スカイプで堀口委員長と山崎副委員長に初めて対面し、1時間くらい面接を行い、今年の1月米山奨学金の採用が決まりました。それと同じ時期に日本語検定1級に合格し、研究論文も完成、台湾の文化庁の一年一度の年会論文として採用され、大学教授、学者、大学院生と一緒に発表しました。3月無事に卒業して、同月16日に日本に来ました。留学ビザが下りるのを待っていたため、一番早くても来日は3月16日でしたが、この日3月16日は私が3年前日本語を学び始めた日で、実に偶然です。

《日本に入国》

日本に入国の日、地区米山記念奨学委員長堀口さん、カウンセラーの浅野さん、成田ロータリークラブ事務局の黒須さんが空港まで迎えに来て下さり、私はとても感動しました。あとで私は堀口さんに聞きました。「皆さんはお忙しいのに、何でわざわざ空港まで迎えに来てくれたのですか？」って。

堀口さんは「イーチェンさんは海外応募者なので、米山記念奨学会からも空港に迎えに行くように言われています。他の奨学生はすでに大学に在籍している人ばかりですからこのようなことはしません。」と話してくれました。私は日本に来る前、成田ロータリークラブが世話クラブを引き受けて下さることを知っていましたが、成田ロータリークラブの皆様も少し不安で、「本当に来るのかな」と不安だったそうです。この話も、その後にはわかったことでした。

日本に来た当初は成田ロータリークラブの平山さんが経営する成田駅近くのホテルに泊まらせていただきましたが、カウンセラーの浅野さんと浅野さんの奥様和子さんの配慮で、私の経済的負担を軽くするため、学生寮に入るまでの11日間、浅野さんのお宅に泊まらせていただきました。その間、浅野さんの家族と一緒に食事をしたり、子供達と一緒に遊んだり、はじめて日本人の家族と一緒に生活して、新しい大変をしました。心から感激しました。今でも、たまにお宅に遊びに行き、浅野さんの可愛い子供3人は、まるで私の日本の弟、妹みたいな存在になりました。

《大学院の研究と勉強》

正式な留学生として大学院で勉強することは、交換留学生の時と全然違います。正式な大学院院生は、ちゃんと責任を持たないといけないことが沢山あります。私の研究室には留学生は私しかいません。中国人がいっぱいの千葉大学でも珍しい事です。だから、日本語しか話さない環境で、最初は少し苦労しましたが、ゼミの時、先生が「どんな議論でも、全員発言しよう」と決めてくれたお蔭で、日本人の学生に反論や、疑問を提出するうちに、自分の日本語も少しずつ良くなっている事に気が付きました。また建築コンペや授業のプレゼンテーションも、色々な国の人とチームワークを維持してやらなければなりません。日本人の学生は、殆どが人見知りですが、時間を重視し、よく人の気持ちを考え、気を使って他人がどんなアイディアを言い出しても、一緒に修正し、いい案を考えるようにします。私は日本人の団結力があり、粘り強い性格の一方で、このように対人コミュニケーションに於いても柔軟性があり、角(かど)が立たずなめらかさも感じる事が出来、

とても敬服しております。

《ロータリークラブへの感謝と将来の夢》

私の留学の夢を支えてくださる日本のロータリークラブの全てのロータリアンに、心からお礼を申し上げます。例会に出席するとき、いつも私のことを温かく応援して下さる成田ロータリークラブのメンバーに対して、感謝しかございません。毎月の例会は、未熟な学生の私にスピーチの機会を与えて下さり、勇気と自信を鍛える場です。学生時代に、様々な企業の経営者層の方々と出会って、学習して、人生が変わったように思います。皆様の姿をみると、将来、自分は一人前の建築家になりたい。世界の色々な国に、自分で設計した建物を建てたい。私はこれからも米山学友としても奉仕を続け、もう一つの夢ですが、将来、母子家庭の子供たちに、勉強が出来るように夢を応援してあげたいと思います。私が好きな伝説の女性、大西洋単独横断飛行をした女性飛行士アメリア・イアハートは、1937年地球一周飛行の最終段階にあり、消息は完全に途絶えてしまい、現在にいたるまで消息不明です。彼女が残した言葉にこういう言葉があります。

「“The most difficult thing is the decision to act, the rest is merely tenacity.”」
(一番難しい事は、決心です。決めたら残りはやり続けるしかない。)

時間は、戻ることができない、人生も前に進む道しかない。だけど、あきらめなければ、必ず日が当たる時がくると信じております。

以上で私の卓話を終わります。御清聴ありがとうございました。

◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長

《決定！！》

12月4日、成田市全面バックアップ、成田ヒューマックスでのSAITO監督の舞台挨拶が決定しました！
12月3日、4日の観客動員数で、その後2週間上映されるか、1カ月上映されるかが決まります！是非、12月3、4日にお出かけくださいますようお願い致します。
お香付の前売り券は、枚数限定です。11月11日(金)まで事務局で取りまとめを行いますので、この機会に是非お買い求めください。



お香の葉つき前売り券♪

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
67	66	42	24	63.64%	72.72%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	クラブ名
松田 泰長、諸岡 靖彦 各会員	10月22日	第13分区ロータリー情報研修会
諸岡 靖彦 会員	10月26日	第12分区ロータリー情報研修会
諸岡 靖彦 会員	10月29日	第11分区ロータリー情報研修会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078